

2024 春入学

卒業要件ガイダンス

サステナビリティ観光学部(ST) / 2023カリキュラム / 日本語基準

APUアカデミック・オフィス



質疑応答はガイダンスの最後に行います。



本資料は、新入生オリエンテーションサイトにアップされています。

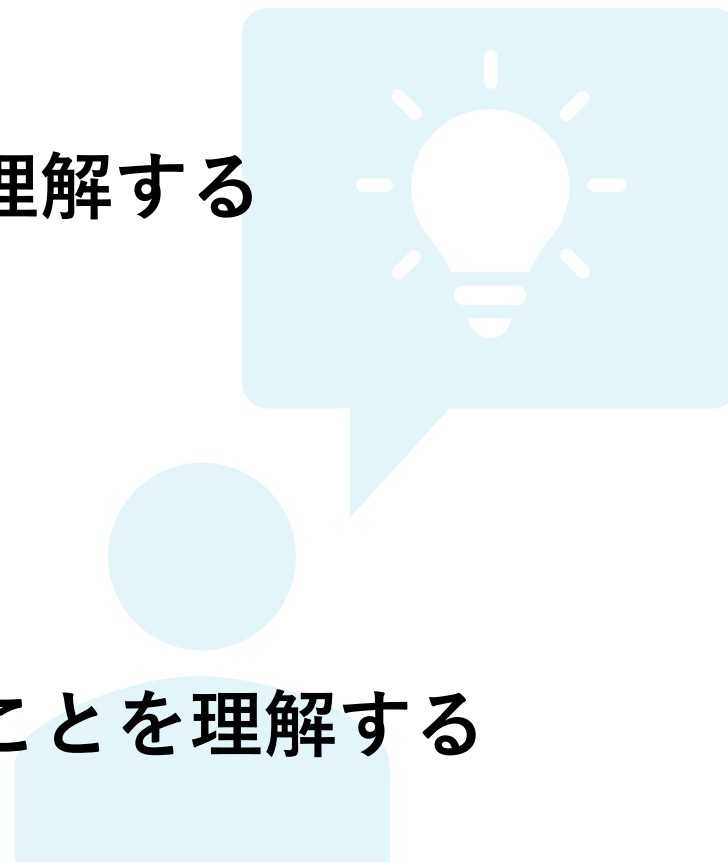


履修科目登録で不明な点があれば、ウェブサイトを常に確認するようにしましょう。

1. 大学の学修・仕組みについて理解する

2. 卒業要件を理解する

3. 履修科目登録までに準備することを理解する



1

基本的な情報と卒業要件

1-1

大学での学修における基本的な情報

1-2

サステナビリティ観光学部（ST）について

- 卒業要件と科目分野



休憩

2

履修科目登録について

2-1

履修科目登録とは

2-2

履修科目登録期間

2-3

履修登録ガイダンスに向けたワーク

2-4

その他

1-1. 大学での学修における基本的な情報

4月	春semester	第1クォーター
5月		
6月		第2クォーター
7月		
8月		夏セッション（5日間）
9月		
10月	秋semester	第1クォーター
11月		
12月		第2クォーター
1月		
2月		冬セッション（5日間）
3月		

学年暦とは？

- 年間予定を記載したカレンダーのことです。1年は2つのsemesterに分かれ、各semesterはさらに2つのクォーターとセッションに分かれています。
- 4月から始まる学期を春semester、10月から始まる学期を秋semesterと呼びます。
- セッションとは、長期休暇が始まって最初の1週間を使って行われる授業がある期間です。

学年暦を見る 

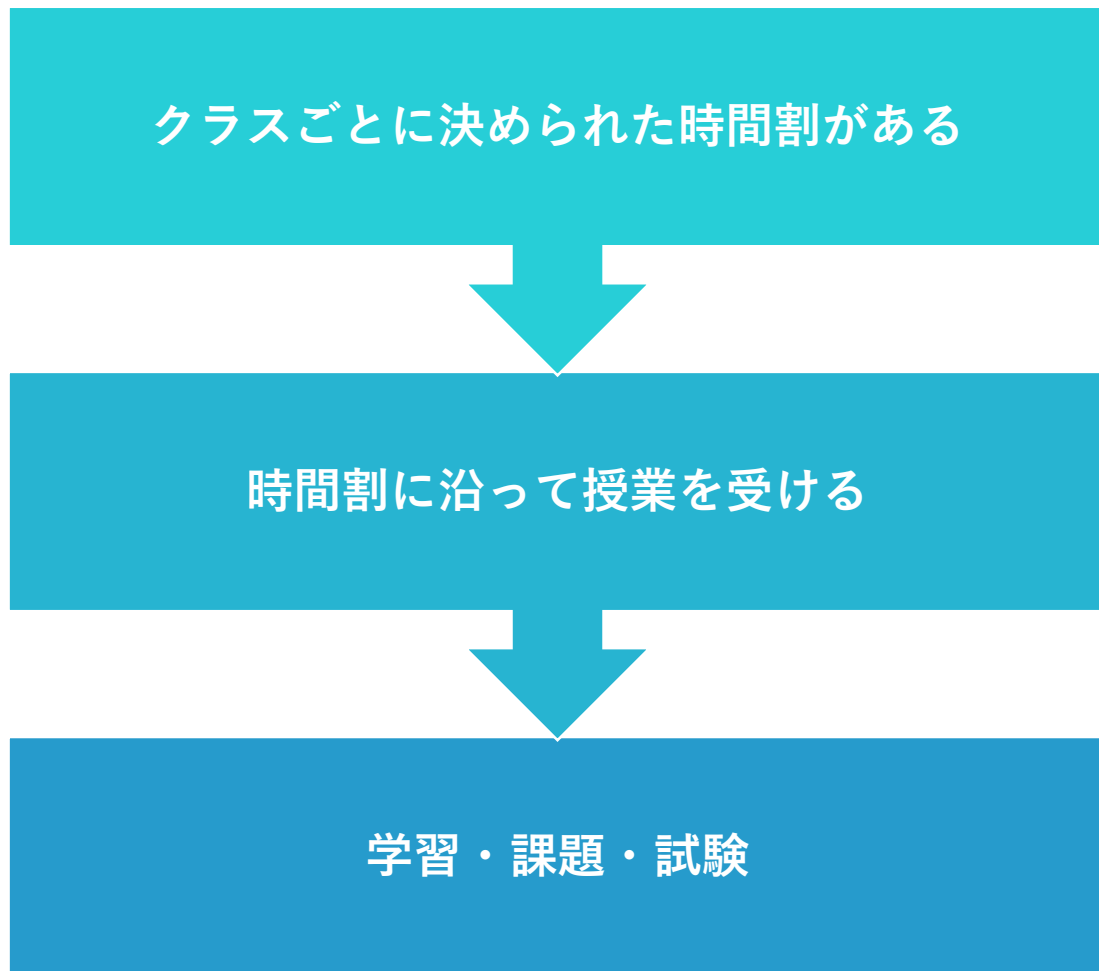
▶ **春入学の場合：最初に迎えるセメスターが「春セメスター」**

1回生		2回生		3回生		4回生	
春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

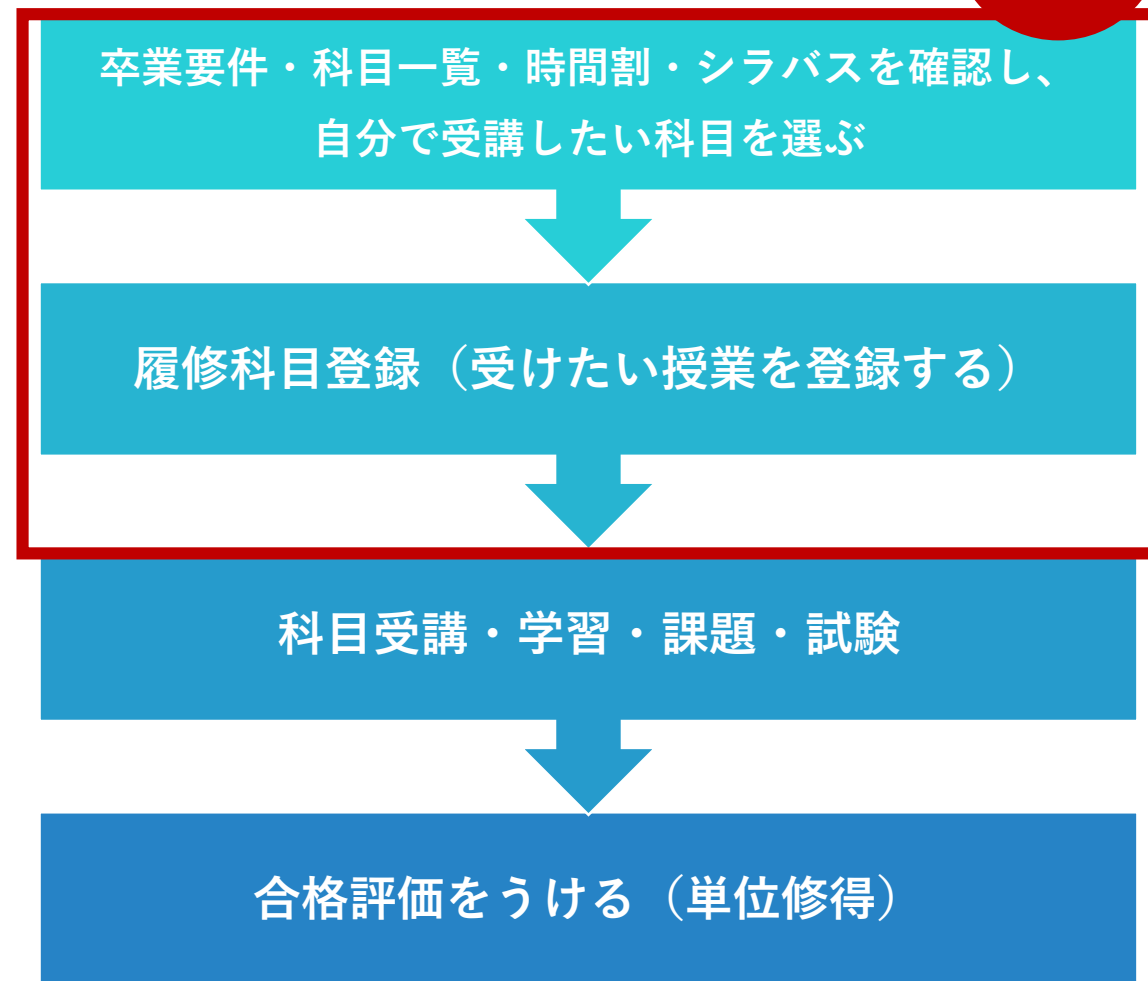
▶ **秋入学の場合：最初に迎えるセメスターが「秋セメスター」**

1回生		2回生		3回生		4回生	
秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター	春セメスター
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

▶ 高校までは…



▶ 大学では…



Point

科目の種類と授業期間

春semester：4月～5月（1クォーター）または 6月～7月（2クォーター）の2カ月で授業が行われる
 秋semester：10月～11月（1クォーター）または 12月～1月（2クォーター）の2カ月で授業が行われる

科目	単位数	開講期間	1週間の授業回数	合計の授業回数
講義科目	2単位	クォーター（2カ月）	2回	14回
		semester（4カ月）	1回	
演習科目	2単位	semester（4カ月）	1回	14回
言語科目	4単位	semester（4カ月）	4回	56回
	2単位		2回	28回

春semester：4月～7月の4カ月で授業が行われる
 秋semester：10月～1月の4カ月で授業が行われる

授業実施形態は、「対面授業」または「遠隔授業（オンライン・オンデマンド）」のいずれかとなります。
各科目の授業実施形態については、シラバスと時間割の両方を見て確認してください。

授業形態		授業の受け方
対面授業		対面型（教室）で実施されます。 ただし、一部授業回がオンライン実施（ZOOM）となる場合があります。 この場合、その授業回はオンライン（ZOOM）で出席する必要があります。
遠隔授業	オンライン	リアルタイムで配信される授業です。 時間割に記載された曜日・時限にZoom等で授業が実施されます。
	オンデマンド	Moodle等で提示された教材、講義動画などを指定された期間内に視聴し、課題等に取り組みます。 原則的に、時間割に記載された曜日・時限に配信が開始されます。

（単位集計時の注意）－2セメスター以降、自身で履修登録をする際に気をつけてください－

「遠隔授業科目」は、大学設置基準及び本学学則に基づき、卒業要件単位数として認められる単位数は【60単位】が上限となります。

【60単位】を超えて修得した場合、卒業に必要な単位としてカウントすることはできません。詳しくは、ウェブサイトの「[6. 授業の実施形態](#)」を確認してください。

時間割サンプル（第1クォーター&第2クォーター）

- クォーター科目を履修する場合、**第1クォーター**と**第2クォーター**で時間割が変わるので要注意！
- クォーター開講科目を履修している曜日・時限に、 Semester開講科目を登録することはできません。

時限	授業時間	開講	月	火	水	木	金
1	8:45-10:25	1Q	英語初級A	英語初級B	スチューデント サクセス ワークショップ	英語初級A	英語初級B
		2Q					
2	10:35-12:15	1Q				2クォーター科目	
		2Q		環境汚染と防止			環境汚染と防止
3	12:30-14:10	1Q		英語初級A			英語初級A
		2Q					
4	14:20-16:00	1Q	日本の歴史		1クォーター科目	日本の歴史	
		2Q					
5	16:10-17:50	1Q	観光学入門	セメスター科目			
		2Q					
6	18:00-19:40	1Q					
		2Q					

▶ 通常の評価

評価	得点率	合否
A+	90%以上	合格 (単位修得)
A	80-89%	
B	70-79%	
C	60-69%	
F	59%以下	不合格

▶ 左記以外の評価

記号	意味	備考
P	合格	一部の科目で使用
T	認定	60単位を上限※
E	免除	単位として集計はされない

※ 2回生・3回生に編・転入学した学生については、編・転入学時に認定された単位数は含みません。

▶ GPAとは？

各科目の成績からAPU独自の換算方法によって算出した学生の成績評価値のこと

- **通算GPA：**

入学してから現在までの成績ポイントをもとに計算

活用例) 成績証明書、交換留学、早期卒業プログラム、履修科目登録など

- **当該セメスターGPA：**

そのセメスターで修得した成績ポイントのみで計算

活用例) 奨学金に関わる審査、履修科目登録など

1-2.サステイナビリティ観光学部（ST）について

卒業要件と科目分野

▶ カリキュラムとは？

卒業に必要な条件や履修できる科目を定めたもので、入学年度によって決まります。

卒業まで変更されることはありません。（退学などの学籍異動の場合を除く）

2024年4月入学者

2023カリキュラム

（2023年度4月以降の入学者）

- 卒業するための条件は、入学基準の言語で大きく異なります。
- 日本語基準は、プレイスメントテストの結果によって、英語の履修トラック（履修の開始レベル）が分かります。
- 英語の履修トラックによって、英語科目の必要単位数が異なります。
- 卒業まで変更されることはありません。（退学などの学籍異動の場合を除く）

学部	サステナビリティ観光学部（ST）							
入学基準言語	日本語基準（J） ※英語科目が必修（卒業要件3）						英語基準（E）	
英語の開始レベル （卒業に必要な英語科目の単位）	初級 (24)	準中級 (18)	中級 (12)	準上級 (6)	上級1 (12)	上級2 (6)	免除 (0)	
英語の履修トラック	スタンダードトラック (ST)				アドバンスドトラック (AT)			
カリキュラム	ST 23 <u>JST</u>				ST 23 <u>JAT</u>			ST 23 E
意味	ST 2023カリキュラム 日本語基準 <u>スタンダードトラック</u>				ST 2023カリキュラム 日本語基準 <u>アドバンスドトラック</u>			ST 2023カリキュラム 英語基準

▶ ST 2023カリキュラム図より一部抜粋

		1回生		2回生		3回生		4回生	
観光学 分野科目	観光学				観光社会学 2 観光文化論 2 文化人類学 2 観光とメディア 2	遺産観光論 2 観光経済学 2			
	観光産業				ツーリズム・オペレーション 2 MICE産業論 2 スペシャルインタレスト・ツーリズム 2 ヘルス&ウェルネスツーリズム 2	観光地マーケティング 2			
	ホスピタリティ産業				ホスピタリティ・オペレーション 2 フード&ビバレッジ・オペレーション 2	サービス・エクスペリエンス 2 リゾート・マーケティング 2 レベニュー・マネジメント 2			
持続可能な 社会分野科目	環境学	生物多様性 2			環境と社会 2 環境政策とガバナンス 2 環境経済学 2 環境教育 2 気候変動 2	公園と保護地域 2			
	資源マネジメント		環境汚染と防止 2		資源マネジメント 2 エネルギーマネジメント 2	循環型社会論 2 サステイナブルビジネス 2			
	国際開発				開発社会学・人類学 2 開発政治論 2 紛争と開発 2 国際開発協力 2	開発政策 2 開発と経済 2			
	地域づくり	サステイナブル都市開発と計画 2	レジリエント都市論 2		サステイナブルツーリズム 2 観光地開発と計画 2	コミュニティ開発論 2			

カリキュラム図では、卒業までに学ぶことができる科目を一目で確認できます。
(画像は科目の一部のみ)
(他学部の科目は未掲載)

STで学ぶことができる科目の中でも、**卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目**が定められています。



卒業要件

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

卒業要件2: 合計124単位以上修得していること

- 卒業するためには、合計124単位以上を修得する必要があります。
- 124単位を修得するにも、細かくルールが定められています。

科目分野		JST 必要単位数	JAT 必要単位数	小計	合計
共通教育 科目	英語科目	24	12	40	124単位 以上
	共通教養科目（必修）	8	8		
	共通教養科目	8	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0	12		
ST専門 教育科目	アカデミック・スキル科目（必修）	6	6	62	
	観光学分野科目	10	10		
	持続可能な社会分野科目	10	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2	2		
	最終成果科目	2	2		
	専門教育科目	32	32		
他学部科目		0	0		
要卒集計外科目		0	0		

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

124単位を修得する上での
細かいルール

卒業要件3: 必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）

▶ 日本語基準学生は、英語科目が必修！

- 入学時のプレイスメントテストによって、**開始レベルと履修トラック**が決定されます。
- 必修科目の単位を修得し終えるまで自動的に大学がクラスを指定します。
- A/B両方の科目の単位を修得すると次のレベルに進むことができます。**AまたはBのどちらかが不合格の場合、次のレベルに進むことはできません。**
- 例えば、英語Aが合格、英語Bが不合格であった場合、次のセメスターに英語Bのみ登録します。

履修トラック	開始レベル	必要単位	スタンダードトラック 必修英語				アドバンスドトラック 必修英語	
			初級A	準中級A	中級A	準上級A	上級1A	上級2A
			初級B	準中級B	中級B	準上級B	上級1B	上級2B
スタンダードトラック (JST)	初級	24	1セメ	初級修得後	準中級修得後	中級修得後	(選択)	(選択)
	準中級	18	免除	1セメ	準中級修得後	中級修得後	(選択)	(選択)
	中級	12	免除	免除	1セメ	中級修得後	(選択)	(選択)
	準上級	6	免除	免除	免除	1セメ	(選択)	(選択)
アドバンスドトラック (JAT)	上級1	12	受講不可				1セメ	上級1修得後
	上級2	6					免除	1セメ
	免除	0					免除	免除

卒業要件3: 必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）

- 英語の開始レベルによって、同じ履修トラックでも卒業に必要な【英語科目】と【言語教育科目および共通教養科目】の単位数が異なります。

JST: 英語初級 始まり

	科目分野	必要単位数	小計	合計
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位以上
	共通教養科目（必修）	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
ST専門教育科目	アカデミック・スキル科目（必修）	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

JST: 英語準上級 始まり

	科目分野	必要単位数	小計	合計
共通教育科目	英語科目	6	40	124単位以上
	共通教養科目（必修）	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	18		
ST専門教育科目	アカデミック・スキル科目（必修）	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

英語履修免除分の【18単位】がスライド

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

卒業要件4: 各科目分野の必要単位数を修得していること

JST: 英語初級 始まり

科目分野		必要単位数	小計	合計
計 102単位				
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位以上
	共通教養科目 (必修)	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
ST 専門教育科目	アカデミック・スキル科目 (必修)	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 卒業に必要な124単位中 **【102単位】** は、修得すべき科目分野と単位数が定められています。
- 残りの22単位については、科目分野は決められていません。興味のある分野から修得してください。

124単位 - 102単位 = 22単位
残り22単位の科目分野は問わない



- 英語の開始レベルによって、「**英語科目**」と「**言語教育科目および共通教養科目**」の必要単位数が少しずつ異なりますが、定められている各分野の必要単位数102単位は、どの学生も一緒です。

ST: 卒業に必要な単位の確認方法

- 卒業に必要な単位は、以下の手順で確認できます。

【手順】 Campusmate >> 教務メニュー「成績照会」

- 卒業するためには…「**修得単位**」が、「**各個人の必要単位**」を満たす（上回る）必要があります。（下記画像参照）
- 日本語基準国内学生は、英語科目とは別に、反対言語（英語開講科目）を20単位以上修得する必要があります。（卒業要件5）

JST: 英語中級 始まり

Campusmate 成績照会[単位取得状況] ガイダンス

[成績一覧を見る](#)

分野系列名	必要単位	履修免除(-)	履修免除(+)	各個人の必要単位	反対言語の修得単位	修得単位
英語	24	-12		12		6
共通教養科目(必修)	8			8		6
共通教養科目	8			8		6
言語教育科目および共通教養科目			+12	12		
[ST]アカデミック・スキル科目(必修)	6			6		
[ST]観光学分野科目	10			10		
[ST]持続可能な社会分野科目	10			10		
[ST]オフキャンパス・プログラム科目	2			2		
[ST]最終成果科目	2			2		
[ST]専門教育科目	32			32		
他学部科目						
合計	124			124		18
要卒集計外科目						

あなたが卒業するのに必要な単位数が表示されます

124単位中【102単位】は修得すべき分野と単位数が定められています

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

共通教養科目とは？

▶ 共通教養科目とは？

- 大学での学びの基盤となる知識・技能と資質・能力を身に付け、深い教養を養うことを目的とする科目です。
- 低回生から履修可能な科目が多くあります。

共通 教 養 科 目	APUリテラシー	スチューデントサクセスワークショップ 2 多文化協働ワークショップ 2 平和・ヒューマニティ・民主主義 2 異文化間コミュニケーション入門 2 異文化フィールドワークⅠ 2 異文化フィールドワークⅡ 2 多文化比較論 2 グローバルリーダーシップの基礎 2 海外学習デザイン 2 ブリッジ	アジア太平洋の言語 2 アジア太平洋の宗教 2 アジア太平洋の地理 2 アジア太平洋の文化と社会 2 アジア太平洋の歴史 2	日本の政治と社会 2 日本のポピュラーカルチャー 2 日本の歴史 2 日本国憲法 2 特殊講義（日本学） 2	異文化間コミュニケーションの応用と実践 2 グローバルリーダーシップのためのスキルと実践 2 ソーシャルインパクトのためのグローバルリーダーシップ 2 茶道 2 華道 2 日本の伝統芸能 2	1回生	2回生	3回生	4回生
	学部専門入門	持続可能な開発入門★ 2 観光学入門★ 2 政策学入門 2 社会学入門★ 2 社会科学のための統計学★ 2	メディア学入門 2 国際関係論入門 2 比較政治学入門 2 政治学入門 2	世界経済とグローバル課題 2 経済学入門 2	上級数学 2 基礎数学 2				
	世界市民基盤	法学 2 心理学 2 生命倫理 2 AIと社会 2 西洋哲学 2 中国哲学 2 西洋美術 2 近現代の科学技術 2	ネゴシエーションスキル 2 論理とクリティカルシンキング 2 キャリア形成のための自己分析 2 キャリア形成のための多様な視点 2 特殊講義（共通教養科目） 2	ウェブデザイン 2 情報処理入門 2 プログラミング入門 2 情報リテラシー 2	ウェルネス 2 メディア制作ラボ 2 インターンシップ 2 キャリア形成のためのキャリア分野分析 2 AIとデータサイエンス 2 GIS入門 2 データベースシステム 2 特殊講義（ICT） 2 情報システムプログラミング 2				

卒業要件6: 共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること

科目分野		必要 単位数	小計	合計
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位 以上
	共通教養科目 (必修)	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
ST 専門教育科目	アカデミック・スキル科目 (必修)	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 卒業までに、次の4科目の単位をすべて修得することが必要です。

科目名	単位	配当セメスター	登録方法
観光学入門	2単位	1セメスター	学生が登録
社会学入門	2単位	1セメスター	学生が登録
持続可能な開発入門	2単位	1セメスター	学生が登録
社会科学のための 統計学	2単位	1セメスター	学生が登録

※ 配当セメスター以上であれば、履修登録可能

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

ST専門教育科目とは？

ST専門教育科目

▶ ST専門教育科目とは？

- STの目的と理念を理解し、専門的な知識・技能を身に付け、興味・関心をより深めていく科目です。
- 多くの科目は、2回生以上から履修が可能です。
- STでは、専門教育科目をさらに下記のように区分しています。⇒ どんな科目が設置されているかは、カリキュラム図で確認できます。

アカデミック・スキル科目		STでの学修を進める上で必要なアカデミック・スキルを学ぶ
学部共通科目	地域づくり	内発的发展論や着地型観光等、地域の持続的な発展・計画のために必要な知識を学ぶ
	社会起業	将来的な企業に必要な知識等を学ぶ
	ICT	観光・持続可能な社会に応用できるICTスキルについて学ぶ
観光学分野科目	観光学	社会学的・人類学的、歴史的背景を踏まえて、社会学の観点から観光に関わる理論を学ぶ
	観光産業	様々な観光のあり方や形態、観光産業のしくみについて、最新の理論・動向や社会的背景等について包括的に学ぶ
	ホスピタリティ産業	サービス、ホテル、リゾート、フードなどの観光に関わる産業や業態について理解を深めるため、ホスピタリティの理論と実践を学ぶ
持続可能な社会分野科目	環境学	人間の活動に伴って生じる大気汚染や水質汚染等の公害問題や気候変動問題、海洋プラスチック問題、生物多様性等の地球規模課題と、地球環境保全のための人々の行動変容等、環境と人々の関係に関わる基本的な知識や理論を包括的に学ぶ
	資源マネジメント	資源循環型の社会、特に循環経済や低炭素社会を実現するための基本的な理論や手法を学ぶ
	国際開発	国際的な持続可能な開発を達成するために必要な社会的側面と経済的側面を中心に、開発のための政治学や社会学、人類学、経済学、政策学などの理論的側面と、国際機関の役割や様々な開発協力手法などの実践的側面を学ぶ
オフキャンパス・プログラム科目		学外における実習を含む科目を学ぶ
演習・最終成果科目		学生の興味・関心に基づき演習形式で学びを深めていく

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

卒業要件7: アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること

科目分野		必要 単位数	小計	合計
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位 以上
	共通教養科目 (必修)	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
ST専門教育科目	アカデミック・スキル科目 (必修)	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 卒業までに、次の3科目の単位をすべて修得する必要があります。

科目名	単位	配当セメスター (※1)	登録方法
社会調査法入門	2単位	1セメスター	学生が登録
文献講読Ⅰ	2単位	3セメスター	3セメスター時に 大学が登録 (※2)
文献講読Ⅱ	2単位	4セメスター	4セメスター時に 大学が登録 (※2)

※1 配当セメスター以上であれば、履修登録可能

※2「文献講読Ⅰ」と「文献講読Ⅱ」について

- 大学が科目を登録する際、入学基準言語のクラスで履修登録します。
- 一部のクラスでは、事前選考が行われる場合があります。この場合は、Campus Terminalで募集の案内を行います。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

卒業要件8: 観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること

科目分野		必要 単位数	小計	合計
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位 以上
	共通教養科目（必修）	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
ST専門教育科目	アカデミック・スキル科目（必修）	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 卒業までに、次の科目から5科目10単位以上を修得することが必要です。
- この分野については、1回生が履修可能な科目はありません。
- いずれの科目も学生自身で登録してください。

区分	科目名	単位	配当セメスター
観光学	観光とメディア	2	3セメスター
	観光社会学	2	3セメスター
	観光文化論	2	3セメスター
	文化人類学	2	3セメスター
	遺産観光論	2	5セメスター
	観光経済学	2	5セメスター
観光産業	MICE産業論	2	3セメスター
	スペシャルインタレスト・ツーリズム	2	3セメスター
	ツーリズム・オペレーション	2	3セメスター
	ヘルス&ウェルネスツーリズム	2	3セメスター
	観光地マーケティング	2	5セメスター
ホスピタリティ産業	フード&ビバレッジ・オペレーション	2	3セメスター
	ホスピタリティ・オペレーション	2	3セメスター
	リゾート・マーケティング	2	5セメスター
	レベニュー・マネジメント	2	5セメスター
	サービス・エクスペリエンス	2	5セメスター

※ 配当セメスター以上であれば、履修登録可能

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

卒業要件9: 持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること

科目分野		必要 単位数	小計	合計
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位 以上
	共通教養科目（必修）	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
ST専門教育科目	アカデミック・スキル科目（必修）	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 卒業までに、次の科目から5科目10単位以上を修得することが必要です。
- いずれの科目も学生自身で登録してください。

区分	科目名	単位	配当セメスター
環境学	生物多様性	2	1セメスター
	環境と社会	2	3セメスター
	環境教育	2	3セメスター
	環境経済学	2	3セメスター
	環境政策とガバナンス	2	3セメスター
	気候変動	2	3セメスター
	公園と保護地域	2	5セメスター
資源 マネジメント	環境汚染と防止	2	1セメスター
	エネルギーマネジメント	2	3セメスター
	資源マネジメント	2	3セメスター
	サステイナブルビジネス	2	5セメスター
	循環型社会論	2	5セメスター
国際開発	開発社会学・人類学	2	3セメスター
	開発政治論	2	3セメスター
	国際開発協力	2	3セメスター
	紛争と開発	2	3セメスター
	開発政策	2	5セメスター
	開発と経済	2	5セメスター

※ 配当セメスター以上であれば、履修登録可能

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

卒業要件10: オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること

科目分野		必要 単位数	小計	合計
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位 以上
	共通教養科目（必修）	8		
	共通教養科目	8		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
ST専門教育科目	アカデミック・スキル科目（必修）	6	62	
	観光学分野科目	10		
	持続可能な社会分野科目	10		
	オフキャンパス・プログラム科目	2		
	最終成果科目	2		
	専門教育科目	32		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 次の科目から、2単位以上修得する必要があります。

科目名	単位	配当セメスター (※1)	登録方法
専門実習	2	1セメスター	学生が登録
フィールド・スタディ	2	1-7セメスター	大学が登録 (※2)
専門インターンシップ	2	3-7セメスター	大学が登録 (※3)

※1 配当セメスター以上であれば、履修登録可能

※2 「フィールド・スタディ」について

- Off-Campus ProgramのサイトよりSTの「フィールド・スタディ」を確認し、応募してください。
- 応募の後、事前選考を基に大学が登録を行います。

※3 「専門インターンシップ」について

- インターンシップのウェブサイトで内容を確認し、応募してください。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

卒業要件11: 最終成果科目を2単位以上修得していること

科目分野		必要 単位数	小計	合計	
共通教育科目	英語科目	24	40	124単位 以上	
	共通教養科目（必修）	8			
	共通教養科目	8			
	言語教育科目および共通教養科目	0			
ST専門教育科目	アカデミック・スキル科目（必修）	6	62		
	観光学分野科目	10			
	持続可能な社会分野科目	10			
	オフキャンパス・プログラム科目	2			
	最終成果科目	2			
専門教育科目	32				
他学部科目		0			
要卒集計外科目		0			

- 次の科目から、いずれかの単位を修得することが必要です。

科目名	単位	配当セメスター (※1)	登録方法
卒業プロジェクト	4	7セメスター	大学が登録 (※2)
キャップストーン	2	7セメスター	学生が登録

※1 配当セメスター以上であれば、履修登録可能

※2 事前選考を基に、大学が登録を行います。

- 「卒業プロジェクト」を履修するには、「卒業研究」の単位を修得していることが必要です。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	共通教養科目のうち必修科目8単位を修得していること
7	アカデミック・スキル科目のうち必修科目6単位を修得していること
8	観光学分野科目を5科目10単位以上修得していること
9	持続可能な社会分野科目を5科目10単位以上修得していること
10	オフキャンパス・プログラム科目を2単位以上修得していること
11	最終成果科目を2単位以上修得していること

日本語基準国内学生のみ卒業要件

英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(自学部および他学部科目)を20単位以上修得することが卒業要件の1つ

トラック	英語開講科目の受講条件
スタンダードトラック (JST)	「英語中級A・B」が単位修得済み、もしくは、履修免除されていること。
アドバンストトラック (JAT)	特別な条件なく、第1 Semester から英語開講科目の登録が可能。

- 言語教育科目（英語科目やAP言語）や両言語開講科目（E/J）は、英語開講科目として認められません。
- 日本語基準国際学生（判定カテゴリ：J-Iの表示）は、この要件を満たす必要はありません。**

卒業要件5: 英語開講科目（反対言語）を20単位以上修得していること

▶ 自分が「日本語基準国内学生」かどうかを確認するには…？

- **英語開講科目（反対言語）20単位以上の修得は、「日本語基準国内学生（判定カテゴリ: J-D の表示）」の卒業要件です。**
- 自身が対象かどうかは、Campusmate で確認をしてください。
- 入学後に在留資格（国内/国際）の変更があった場合でも、判定カテゴリ自体が変更されることはありません。

Campusmate ログイン後画面

教務メニュー
履修登録
学修分野申請
学修分野/
Specialization確認
成績照会
住所照会・変更
就職メニュー
就職お知らせ
企業情報検索

成績照会[科目一覧] ガイダンス
2024 秋
判定カテゴリ ST-J-D

科目名
*** 言語教育科目 ***
011200 英語上級1A
011201 英語上級1B
011202 英語上級2A
011203 英語上級2B
*** 共通教養科目 ***
020039 観光学入門
020050 ウェルネス
020255 特殊講義(共通教養科目)
021008 日本の歴史

例)

学部	言語基準	国内・国際
ST-	J-	D-
サステナビリティ観光学部	日本語基準	国内学生

上記以外の凡例)

言語基準	英語基準	E-
国内・国際	国際学生	I-

休憩



2-1. 履修科目登録とは

▶ 履修科目登録とは？

- 各自が受講しようとする授業科目を登録する手続きで、その意思表示をすること。
- 履修計画を決めるうえで最も重要な手続きである。
- 授業の受講、単位の修得および卒業には欠かすことのできない作業。

**受講の意思なく登録だけをしておくことは、本当に学修したい人の妨げになります。
絶対に行わないでください。**

▶ 回生によって、基礎的な科目から順に設置されています

各科目は基礎的な科目から順に、1回生向け、2回生向け…と配置されています。

自身が重点的に学修したい分野をよく考えて、履修する科目の**配当セメスター**、**科目分野**、**科目の前提科目**、**科目の履修条件**などを参考に、系統的な履修を心がけてください。

▶ 登録上限単位数

回生	1回生		2回生		3回生		4回生以上	
semester	1	2	3	4	5	6	7	8以上
通常学生	18	18	20	20	20	20	24	24

新入生のみなさんが
2024年春semesterに登録できる単位数

(単位)

- 各semesterで履修科目登録できる単位数には上限があります。
- **上限単位数には、大学が登録する単位も含まれません。**
- 各semesterで必ず登録しなければならない「最低単位数」はありません。
- 奨学金や各種プログラムに申請するためには、必要な修得単位数が設けられている場合があります。スチューデント・オフィスへお問い合わせください。

▼ST-J（必修英語科目がある場合）

（単位）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
英語A				英語B		SSW		情報 リテラシー		1	2	3	4	5	6	5	6

学生自身で
削除可能

自分で登録できる単位数

▼ST-J（必修英語科目がすべて免除の場合）

（単位）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
SSW		情報 リテラシー		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

学生自身で
削除可能

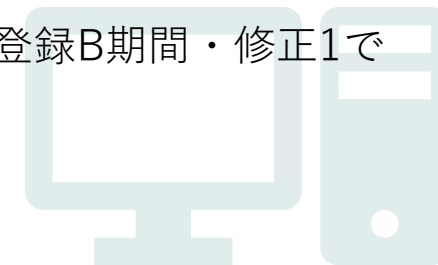
※赤字の科目は、卒業までに必ず単位修得しなければならない科目です。
不合格の場合は、次のセメスターも大学が登録をし続けます。

▶ 大学が登録する共通教養科目

	スチューデントサクセス ワークショップ (SSW)	多文化協働 ワークショップ (MCW)	情報リテラシー
登録方法	大学が登録 ※削除不可	大学が登録 ※削除不可	大学が登録 ※削除可能
登録時期 *春入学生	1セメスター	2セメスター	1セメスター

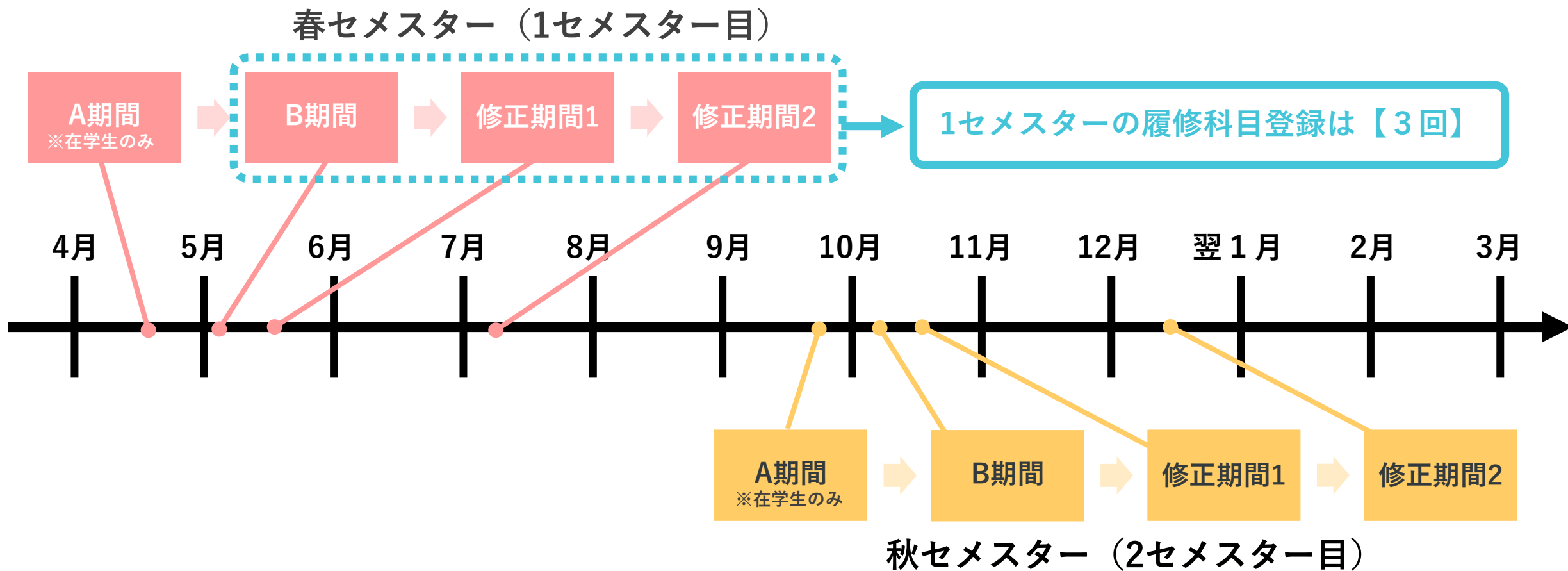
「情報リテラシー」について

- オンデマンド開講（録画した映像を学生が好きなタイミングで見て学修するスタイル）
- シラバスで到達レベルを確認した上で履修不要と判断すれば、学生自身で削除可能（履修登録B期間・修正1でのみ削除可）
- **1セメスター生のみ履修可能**



2-2. 履修科目登録期間

- 履修科目登録期間は、春・秋それぞれ4回ずつ設定されています。
- 1セメスターの時のみ、【B期間】、【修正期間1】、【修正期間2】の3回です。



A期間

B期間

修正期間1

修正期間2

対象		登録可能時間
在学生のみのみ	優先① (GPA 3.00以上)	9:30～14:30
	優先② (GPA 2.50以上)	12:00～17:00
	通常	14:30～19:30

開講時期	登録/取消
セメスター科目	登録 / 取消 可能
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	
セッション科目	

在学生（2セメスター生以上）が対象の履修科目登録期間です。

2セメスター以降の履修科目登録A期間は、GPAによって登録できる時間が異なります。（左表参照）

- ✓ 通算GPAまたは当該GPAのうち、数値の高い方が適用されます。
- ✓ GPAによる登録制度は、A期間のみ適用される制度です。

- 以下の科目の登録が可能です。
 1. 言語教育科目
 2. 共通教養科目
 3. 専門教育科目（**自学部科目のみ**）
- 全学部の学生が登録可能な「言語教育科目」と「共通教養科目」は、各学部の学生数によって定員・クラスを配分します。
- 学部によって登録日が異なります。
- 他学部の専門教育科目は、原則、2回生（3セメスター）の履修科目登録B期間から履修登録が可能です。



B期間	対象	登録可能時間
	新入生 / 復・再入学生	9:30~17:00
	在学生	12:00~17:00

開講時期	登録/取消
semester科目	登録 / 取消 可能
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	
セッション科目	

- 全科目を登録できます。
- 他学部の科目は、原則、2回生（3セメスター）から登録可能です。
- A期間後に残定員がある科目・クラスは、B期間に全学部の学生が登録可能です。
- 留学から戻って来る学生は、「復・再入学生」ではありません。在学生なので、A期間から履修登録可能です。



	対象	開始時刻	修了時刻
修正期間 1	全学生	10:00	翌日 10:00

開講時期	登録/取消
semester科目	登録不可 / 取消のみ可能
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	登録 / 取消可能
セッション科目	

- すでに授業が始まったsemester科目・第1クォーター科目は、取消のみ可能です。
- B期間後に残定員がある科目・クラスは、修正期間に全学部の学生が登録可能です。（第2クォーター科目・セッション科目のみ）



	対象	開始時刻	終了時刻
修正期間 2	全学生	10:00	翌日 10:00

開講時期	登録/取消
セメスター科目	変更不可
第1クォーター科目	
第2クォーター科目	取消のみ可能
セッション科目	登録 / 取消 可能

- 第2クォーター科目は、取消のみ可能です。
(セメスター科目・第1クォーター科目は修正不可)
- 修正1後に残定員があるセッション科目は、登録できます。
- 修正期間2終了後は、いかなる理由であっても一切の変更ができません。

期間	セメスター 科目	第1クォーター 科目	第2クォーター 科目	セッション 科目
A期間 ※在学生のみ	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消
B期間	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消	登録 / 取消
修正期間1	<u>取消のみ</u>	<u>取消のみ</u>	登録 / 取消	登録 / 取消
修正期間2	<u>修正不可</u>	<u>修正不可</u>	取消のみ	登録 / 取消

A期間： 言語科目・共通教育科目・自学部の科目が履修登録可能。

B期間： 他学部の科目も履修登録可能。（※原則、3セメスター以上から履修登録可能）

POINT - 考え方 -



- ▶ まだ始まっていない科目
登録・取消ともに可能
- ▶ 既に授業が始まった科目
取消のみ可能
- ▶ 既に授業が半分過ぎている科目・終了した科目
登録・取消ともに不可

履修科目登録スケジュール ▶

	日時
B期間	4月4日（木） 9:30 ~ <u>17:00</u>
修正期間1	4月15日（月） 10:00 ~ 4月16日（火） 10:00
修正期間2	6月12日（水） 10:00 ~ 6月13日（木） 10:00

- 履修科目登録は自宅やAPハウス等、学内学外問わずインターネットがつながる場所で、行うことが可能です。
- 学内で履修科目登録を行う場合は、開放教室を使用することができます。
- 開放教室はキャンパスターミナルでお知らせします。なお、開放教室には限りがあります。



2-3. 履修科目登録に向けたワーク（宿題）

重要

履修登録ガイダンス

日時： 4月3日(水) 14:00 ~ 16:00

場所： F棟 203教室

履修登録ガイドンスまでにワークシートを記入してきてください。

ガイドンス当日は、このシートを使いながら、自身の時間割を考えていきます。

【目的】

- ・ 4年間の学びを意識した、計画的な履修登録のノウハウを理解する。
- ・ 履修登録をする際のステップや参照する資料を理解する。
- ・ ExcelやCampusmateの使い方を理解する。
- ・ 2セメスター以降、1人で履修科目登録をできるようになる。

STEP 1： 4年間での学びを考えてみる

APUでどんなことを学びたいですか？ 今どんなことに興味がありますか？

将来どんな仕事をしてみたいですか？

なんとなく思っていることで構いません。思いついたことを書いてみましょう。

例：英語を使った仕事がしたい / メディアに興味がある / 国際関係が気になる /

マーケティングを中心に学びたい / SDGsに関心がある / 日本語を教えたいたい …

履修科目登録ガイドンスに向けて（履修登録ワークシート）

4月3日（水）の履修科目登録ガイドンスでは、実際に時間割を考える際のポイントを理解することが目標です。毎セメスター行う履修科目登録の前の大切なステップなので、しっかりと理解しましょう。そのためにも、STEP 1～3までを終了したうえで、履修科目登録ガイドンスへ参加してください。履修登録ガイドンス当日は、必ずこの用紙も持ってきてください。

STEP 1： 4年間での学びを考えてみる

APUでどんなことを学びたいですか？ 今どんなことに興味がありますか？ 将来どんな仕事をしてみたいですか？ ふんわり思いついていること、なんとなく思っていることで構いません。思いついたことを書いてみましょう。

例：英語を使った仕事がしたい / メディアに興味がある / 国際関係が気になる / マーケティングを中心に学びたい / SDGsに関心がある / 日本語を教えたいたい など…

STEP 2： 学びたい科目・興味のある科目を見つける

STEP 1と繋がる科目は何かも意識しながら、カリキュラム図や科目一覧を見て、気になる科目名を裏面の表に書き出してみましょう。カリキュラム図・科目一覧には、4年間で学べる科目が掲載されています。

- カリキュラム図：
専門教育科目については、自身が所属する学部の科目のみ掲載しています。1回生と記載されている枠にある科目からピックアップしましょう。
- 科目一覧：
自身の学部以外の専門教育科目（他学部科目）も掲載しています。「配当セメスター」が「1」と記載されている科目からピックアップしましょう。

例)

メディアに興味がある：メディア学入門、日本のポピュラーカルチャー…

国際関係が気になる：国際関係論入門、比較政治学入門、地域研究入門…

STEP 3： シラバスで授業内容を確認する

STEP 2でリストアップした授業でどういったことが学べるのかを調べてみましょう。

科目名だけではどんな内容を学ぶのか、授業はどのような風に行われるのかわかりません。「シラバス」を熟読し、自身が学びたい内容かどうかを確認しましょう。簡単に授業内容や成績評価の方法をノート等にまとめておくとも後から見返せます。

=====ワークは以上です=====

STEP 4： 4月3日の履修登録ガイドンスに参加する

ワークシートを埋めたうえで、履修登録ガイドンスに参加してください。当日は、STEP 3までやったことを踏まえて、このセメスターに取りたい科目が本当に履修できるかどうかを確認し、一緒に時間割を組んでいきます。

STEP 2： 学びたい科目・興味のある科目を見つける

STEP 1 と繋がる科目は何かも意識しながら、カリキュラム図や科目一覧を見て、気になる科目名を裏面の表に書き出してみましょう。

カリキュラム図・科目一覧には、4年間で学べる科目が掲載されています。

ST 2023 カリキュラム図



ST 2023 科目一覧



STEP 3： STEP 2 で書き出した科目の授業内容を確認する

科目名だけでは何を学ぶのかは分かりません。

授業内容・計画・成績評価方法とが書かれた「シラバス」を確認しておきましょう。

シラバス



● ST 2023カリキュラム 適用学生 記入用紙		履修したい科目、気になる科目
共通教育科目	英語 (ST)	※アレイメントテストの結果によって、初級A/B→準上級A/Bは大学が登録します。それ以外を■書き出しましょう。 ※英語基礎学生は受講できません。
	英語 (AT)	※アレイメントテストの結果によって、上級1A/1B→上級2A/2Bは大学が登録します。それ以外を■書き出しましょう。 ※英語基礎学生は受講可能ですが、一部条件あり。
	日本語	※アレイメントテストの結果によって、初級1・II・III→中級は大学が登録します。それ以外を■書き出しましょう。 ※日本語基礎学生は受講できません。
	AD履修	※履修を希望する資格が在籍でないと、 ※日本語基礎学生は「英語初級A・B」、英語基礎学生は「日本語初級1・II・III」を単位修得済み、もしくは履修免除済みであること。
共通教育科目	共通	
	APUリサーチ	
	学部専門入門 世界市民基礎	
専門教育科目	純光学	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、■書き出しましょう。
	純光産業	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、■書き出しましょう。
	ホスピタリティ産業	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、■書き出しましょう。
S T 専門教育科目	環境学	
	資源マネジメント	
	国際関係	※1回生で履修できる科目はありません。2回生（3セメスター）から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、■書き出しましょう。
	地域づくり	
学部共通科目	社会企業	
	データサイエンスと情報システム	
	特別講義	
アカデミックスキル科目		
オフキャンパス・プログラム科目		
演習科目		※3回生（5セメスター）から登録可能です。
最終成果科目		※4回生（7セメスター）から登録可能です。
他学部（APS / APM）		※1回生の間は履修できません。2回生（3セメスター）の【前期】から登録可能です。2回生以上で履修したい科目があれば、■書き出しましょう。

2-4. その他

休講・補講

- 教員の体調不良、気象条件などによって、授業が休講になる場合があります。
- 休講した場合は補講日に補講があります。（学年暦で「補講日」となっている日は空けておきましょう）
- 休講および補講が発生した場合は、キャンパスターミナルでお知らせします。

教員との連絡

- 大学では基本的に、教員と直接コミュニケーションを取ることになります。（質問や授業欠席の連絡など）
- 授業に関する質問や疑問は、以下を利用して教員に尋ねましょう。
 - **授業の前後に教室で先生に相談を行う**
 - **メールで質問をする**（連絡先はシラバスやオフィスアワーのページ、授業内で確認）
 - **オフィスアワーを利用する**（研究室を訪ねて相談できる時間です。オフィスアワーのページで時間を確認）
- 非常勤の先生は研究室がありません。メールまたは授業内で尋ねるようにしましょう。

注 意

- メール連絡の際は、**①学籍番号 ②氏名 ③相談・質問内容** を必ず記載してください。
- 大学や教員へ連絡する際は、**自身のAPUメール (@apu.ac.jp)** を必ず使用してください。



1. 復習も兼ねて、次の資料を読みましょう

次の資料を確認し、卒業要件への理解を深めましょう。

WEBサイト



本ガイダンス資料



よくある質問



補足資料（次スライド）

<ウェブサイトの使い方>から確認
しましょう！

2. ワークシートに取り組みましょう

「履修計画シート」を記入したうえで、「履修登録ガイダンス」に参加しましょう。

3. 履修登録ガイダンスに必ず参加しましょう

上記1・2を完了し、「履修登録ガイダンス」に参加してください。

日時： 4月3日（水） 14:00～16:00

場所： F203

持物： パソコン、記入済のワークシート、筆記用具



補足資料



ウェブサイト / ウェブ掲載資料

学部ごとの卒業要件や、学部共通の科目（言語科目等）、学修に必要な情報をすべて記載しています。



シラバス

教員が授業の計画を学生に伝えるためのものです。授業内容や成績評価等大切な情報を記載しています。



科目一覧

履修登録をする際に重要となる担当セメスターや履修条件を記載しています。

※セメスターによっては開講されない科目も含まれます。



授業時間割

そのセメスターで開講される授業の曜日・時限・教室等を記載しています。記載のない科目はそのセメスターで開講されません。

1. 大学が登録する科目の時間割を確認する

- 大学が登録する科目の時間割は、履修登録の前日にCampusmateで確認できるようになります。
- 大学が登録する科目の曜日・時限を確認し、自分で履修登録できる単位数と空き時間を確認してください。（大学が登録する科目の曜日・時限を変更することはできません）
- Campus Terminal「あなた宛の重要なお知らせ」でも、大学が登録する科目をExcelで送付予定です。

2. シラバス・科目一覧・授業時間割を確認する

- 空いている曜日・時限で履修したい科目の情報を、シラバス・科目一覧・授業時間割やシラバスで調べてください。（※必ず自身のカリキュラム情報を確認すること）
- シラバス：授業内容や成績評価、履修の目安等に注目しながら、履修したい科目を考えてください。
- 科目一覧：担当セメスター、前提科目、履修制限を確認し、興味のある科目が履修可能か確認してください。
- 授業時間割：そのセメスターに開講されるかを確認してください。授業時間割掲載されていない科目は、そのセメスターに開講されません。

3. 時間割（案）を作成する

- 1, 2を基に、時間割の案を作成してください。
- 履修登録当日、希望する科目を登録できなかった場合に備えて、時間割のプランは複数考えることを推奨します。

4. 履修登録日に、履修登録をおこなう

- Campusmateから履修登録をおこなってください。

- 各学部の卒業要件の詳細は、ウェブサイト にすべて記載しています。自身が所属する学部の情報を確認してください。
- 卒業要件や科目一覧はカリキュラム別に掲載しているので、自身に適用されるカリキュラムの情報を確認してください。

各学部のカリキュラムと卒業要件

各学部のカリキュラム、卒業要件の詳細は以下から確認してください。

第8章 アジア太平洋学部

APSの人材育成目的や卒業要件について
自身のカリキュラムを確認してください

1. カリキュラムとは >
2. アジア太平洋学部について >
3. 卒業要件・学修分野 >
4. カリキュラム図・科目一覧 >
5. 共通教育科目（言語教育科目） +
6. 共通教育科目（共通教養科目） +
7. APS専門教育科目 +
8. オナーズ・プログラム >

第9章 国際経営学部

APMの人材育成目的や卒業要件について
自身のカリキュラムを確認してください

1. カリキュラムとは >
2. 国際経営学部について >
3. 卒業要件・学修分野 >
4. カリキュラム図・科目一覧 >
5. 共通教育科目（言語教育科目） +
6. 共通教育科目（共通教養科目） +
7. APM専門教育科目 +
8. APM必修科目反対言語履修 >

第10章 サステナビリティ観光学部

STの人材育成目的や卒業要件について

1. カリキュラムとは >
2. サステナビリティ観光学部について >
3. 卒業要件 >
4. カリキュラム図・科目一覧 >
5. 共通教育科目（言語教育科目） +
6. 共通教育科目（共通教養科目） +
7. ST専門教育科目 +

ウェブサイトを見る 

▶ シラバスとは？

- 教員が授業の計画を学生に伝えるためのものです。
- 開講セメスターや授業内容、成績評価の方法、学生への要望事項など、授業に関する基本的で重要な情報が載っています。
- Campus Terminalまたは、アカデミック・オフィスウェブサイトから閲覧できます。
- 受講する科目を決める際に、必ず確認してください。

シラバスの記載事項



- 科目名・クラス名
- 開講セメスター（春・秋）
- 担当教員名
- 授業の概要
- 各授業回の実施形態
（対面/オンライン/オンデマンド）
- 学生への要望事項
- テキスト・参考文献
- 成績評価方法
- 教員の連絡先

シラバスを見る →

▶ アクセス方法

アカデミック・オフィス ウェブサイト ≫ 第2章 授業関連・シラバス ≫ 1. シラバス ≫ APU シラバス

第2章 授業関連・シラバス
科目の開講形態、時間割、休講・補講、授業欠席等について

- 1. シラバス >
- 2. 時間割 >
- 3. 授業評価アンケート >
- 4. 休講と補講 >
- 5. 病欠・忌引きの欠席手続き >



第2章 授業関連・シラバス |

1. シラバス

Share on: |

APUシラバス

APUシラバス

※Campus Terminalのトップ画面に遷移します。

【シラバス検索方法】

- ※シラバス検索は、ログイン不要です。
- ①Campus Terminalへアクセス後、必要に応じて、右上から言語選択をしてください。
- ②「シラバス検索」から目的に応じた検索方法を選択してください。

検索画面

シラバスを検索する年度を選択し、各検索条件を入力して検索してください。

シラバスを検索する

年度	2024 年度																		
講義名称																			
担当教員																			
開講時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">選択できる開講時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SP</td> <td>春セメスター科目</td> </tr> <tr> <td>SP1</td> <td>春1クォーター科目</td> </tr> <tr> <td>SP2</td> <td>春2クォーター科目</td> </tr> <tr> <td>SU1</td> <td>夏セッション科目</td> </tr> <tr> <td>FA</td> <td>秋セメスター科目</td> </tr> <tr> <td>FA1</td> <td>秋1クォーター科目</td> </tr> <tr> <td>FA2</td> <td>秋2クォーター科目</td> </tr> <tr> <td>WI1</td> <td>冬セッション科目</td> </tr> </tbody> </table>	選択できる開講時期		SP	春セメスター科目	SP1	春1クォーター科目	SP2	春2クォーター科目	SU1	夏セッション科目	FA	秋セメスター科目	FA1	秋1クォーター科目	FA2	秋2クォーター科目	WI1	冬セッション科目
選択できる開講時期																			
SP	春セメスター科目																		
SP1	春1クォーター科目																		
SP2	春2クォーター科目																		
SU1	夏セッション科目																		
FA	秋セメスター科目																		
FA1	秋1クォーター科目																		
FA2	秋2クォーター科目																		
WI1	冬セッション科目																		
曜日・時限																			

- 該当する開講時期にチェックを入れ、科目や教員、曜日や時限を指定して調べることができます。
- 科目名や教員で検索する際は、一言一句間違いなく入力してください。
- 正確に教員名や科目名を入れるために、授業時間割のExcelから教員名や科目名をコピー&ペーストすることを推奨します。

シラバスの画面

開講年度	2023
講義コード	021013JA
科目ナンバー	[23]-[LIB]-[APU]-1 [17]-[LIB]-[GCF]-1
開講semester	春semester
講義名・クラス名	アジア太平洋の言語 JA
担当教員	田原 洋樹
備考	不正行為(カンニング、剽竊等)は自ら学習する権利です。不正行為は厳重な処分の対象となります。 Academic misconduct (cheating, plagiarism, etc.) is the abandonment of one's own right to learning and study at APU. Academic misconduct is subject to severe disciplinary action. 履修する科目を選択するにあたり、当該科目における学びの内容、授業手法や設計方法などを踏まえ、参考とする情報の一つとして活用することを目的に授業評価アンケートの公表を行っています。 We publish the class Evaluation Survey Results to give students information about course content, teaching methods, course design, and other items on reference when choosing their courses. URL https://en.apu.ac.jp/academic/class_info/class_evaluation_survey/

◆ 科目ナンバー

自身のカリキュラムが入っていれば、受講対象です。

[23] : 2023カリキュラムの科目

[17] : 2017カリキュラムの科目

*カリキュラムが表示されていたとしても、受講可能かどうかは、科目一覧で確認してください。

*2011カリキュラムの科目の場合は、空白です。

講義分野(講義内容に関するキーワード)	言語 Language 当フィールドの設定は、関心のある分野に該当する科目を検索、閲覧するものです。興味のある分野を示しているだけであって、卒業に必要な単位区分とは関係がありません。単位区分については、ハンドブックを参照してください。
履修の目安	◆ 履修の目安 授業を受けるにあたって、どのような知識が必要か、履修していることが望ましい科目などが記載されています。
授業概要	
到達目標	
授業方法	教科書を用い、講義形式で実施する。

授業外学習(予習・復習など)の内容と分量	1. 毎回の講義に先立ち、教科書を自分で読んでおく。読むべき箇所や補充資料などは講義中に細かく指示する。(約2時間) 2. 講義後は、自分の言語学習経験や言語生活に即して講義内容を復習する。講義時間内または当日中に講義内容に関するコメントや応用問題の解答提出などがある。(約2時間) 3. このほか、国際音声字母の聞き取りに関して、指定サイトでの自習が求められる。(おおむね10時間)
成績評価方法	◆ 成績評価方法 評価方法のほか、出席に関する注意事項や提出物、レポートや試験のことが記載されています。
多文化協働学習の実践方法	講義内容 他の国内学生と意見交換、音声学習である。地域の言語、さらに本学独自の言語的多様性を色濃く反映した内容とする。
授業担当教員の業務経験	在ベトナム日本国大使館専門調査員。 外務大臣委嘱事項は「ベトナムの政治状況の調査」。 1996年から1999年まで。
学生への要望事項	出席は取らないが、試験は講義への出席および予習復習を前提に出題する。また、時間内で課題に取り組むこともある。 教科書は必ず購入すること。 *ほかの受講生の学習を妨げる行為(私語、飲食など)は厳しく注意します。改善しない場合には退出させます。

科目ナンバリングの詳細を見る 

▶ 科目ナンバリング

カリキュラムの中での科目の位置づけやカリキュラムの体系性を明示する仕組みです。

シラバス上に記載があるので、系統的な履修計画を立てる際の参考情報として利用してください。

開講年度	2023
講義コード	02B011JA
科目ナンバー	[23]-[LIB]-[MSG]-1
開講semester	春semester
講義名・クラス名	基礎数学JA
担当教員	高妻 倫太郎



例	カリキュラム	科目分野	学修分野	グレード番号
科目ナンバリング	23 -	LIB -	MSG -	1
意味	23カリキュラム	教養科目	学部専門入門分野	1回生向け

▶ 科目一覧とは？

- 各科目を履修する際の条件が記載されています。その条件を満たしていない場合は、履修登録できません。
- 掲載されている科目は、毎セメスター開講されるとは限りません。
- 開講される科目の詳細は、セメスターごとに公開されるシラバスや時間割で確認してください。

科目一覧を見る 

科目一覧の記載事項

- 科目名
 - 単位数
 - 配当セメスター
 - 前提科目
 - 複数回受講できる科目
 - 履修制限
 - 学修分野
- etc

▶ アクセス方法

アカデミック・オフィス ウェブサイト ≫ 第10章 サステナビリティ観光学部 ≫ 4. カリキュラム図・科目一覧 ≫
ST 2023カリキュラム科目一覧

第10章 サステナビリティ観光学部
STの人材育成目的や卒業要件について

- 1. カリキュラムとは >
- 2. サステナビリティ観光学部について >
- 3. 卒業要件 >
- 4. カリキュラム図・科目一覧 >**
- 5. 共通教育科目（言語教育科目） +
- 6. 共通教育科目（共通教養科目） +
- 7. ST専門教育科目 +



第10章 サステナビリティ観光学部 |

4. カリキュラム図・科目一覧

Share on: |

23 2023カリキュラム
・2023年度以降に新入学生（1セメスター回生）として入学した学生

カリキュラム図

[ST 2023 カリキュラム図](#)

科目一覧

ST 2023カリキュラム科目一覧 (Excel)

科目一覧は、各科目に設定されている科目コードや、修得した単位が集計される科目分野などの情報が記載されています。掲載されている科目は、毎セメスター開講されるとは限りません。開講される科目の詳細は、セメスターごとに公開されるシラバスや時間割で確認してください。

[ST 2023カリキュラム科目一覧](#)

[ST 2023カリキュラム単位認定科目一覧](#)

サンプル Subject Name	配当セメ スター Sem	前提科目JST Prerequisite Subjects for JST	前提科目JAT Prerequisite Subjects for JAT	前提科目E Prerequisite Subjects for E	履修制限 Course Registration
中国語Ⅱ Chinese II	1	・010180 中国語Ⅰ Chinese I ・011100 英語初級 A Elementary English A ・011101 英語初級B Elementary English B	・010180 中国語Ⅰ Chinese I	・010081 日本語初 級Ⅰ Japanese Foundation Course I ・010091 日本語初 級Ⅱ Japanese Foundation Course II ・010092 日本語初 級Ⅲ Japanese Foundation Course III ・010180 中国語Ⅰ Chinese I	
日本語プロジェクトF Japanese Project F	1	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	
日本語・日本社会 Language and Social Topics in Japan	1	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	・010103 日本語上 級 Advanced Japanese	
会計学Ⅱ Accounting II	3	・030571 会計学Ⅰ Accounting I	・030571 会計学Ⅰ Accounting I	・030571 会計学Ⅰ Accounting I	B期間から Available from Period B

※画像はサンプルです。正しくはST2023カリキュラムの科目一覧をご覧ください。

特にチェックすべきPOINT



【配当セメスター】

履修登録ができるようになるセメスターです。
配当セメスター以上であれば履修登録できます。

【前提科目】

その科目を履修するために単位修得しておく必要がある科目
です。定められた「前提科目」を修得していない場合、配当
セメスターの条件を満たしていても履修登録できません。
JST/JAT/E 別に前提科目が異なります。

【履修制限】

その科目を履修登録するときの制限です。
大学が登録することや、履修登録できる期間、言語基準に
よっての制限が記載されています。

▶ 授業時間割とは？

- その Semester で開講される授業の曜日・時限・教室等を記載しています。
- 公開中の時間割に掲載されていない科目は、その Semester で開講されません。
※セッション科目の時間割は、別途告知します。
- 時間割には、右記のことが記載されているため、履修科目登録の前に必ず確認してください。

授業時間割記載事項



- 授業期間・曜日・時限
- 授業形態・教室・Zoom ID
- 講義名・講義コード
- 担当教員名
- 成績評価方法
- 言語
- 配当 Semester
- 科目分野・学修分野

授業時間割を見る 

▶ アクセス方法

アカデミック・オフィス ウェブサイト ≫ 第2章 授業関連・シラバス ≫ 2. 授業時間割・教室変更 ≫
サステナビリティ観光学部（ST） ≫ 2023カリキュラム学生用 2024年度春 semester 時間割

第2章 授業関連・シラバス
科目の開講形態、時間割、休講・補講、授業欠席等について

- 1. シラバス >
- 2. 時間割 >**
- 3. 授業評価アンケート >
- 4. 休講と補講 >
- 5. 病欠・急引きの欠席手続き >

授業時間割

時間割表は、学部・入学年度によって異なります。以下ページをよくご確認いただき、ご自身の学部・カリキュラムに対応した時間割表をご確認ください。
秋 semester の時間割とシラバスは今後一部変更される場合があるため、2024年9月に更新を予定しています。秋 semester の履修登録前には必ず更新後の時間割とシラバスをご確認ください。

※ 大学による自動登録科目の時間割は、3月18日（月）Campus Terminal上でお知らせ予定です。

※ 夏セッション時間割は7月頃、冬セッション時間割は1月頃に公開予定です。

※ 成績評価方法は「通常(A+, A, B, C, F)」と「P/F方式」の2通りがあります。

履修を予定している講義がどちらの方式を採用しているかを確認した上で履修科目登録を行ってください。

- P/F方式で評価された成績は、通算GPAおよび当該GPAの計算には含まれません。

アジア太平洋学部（APS）

国際経営学部（APM）

サステナビリティ観光学部（ST）

ST 2023カリキュラム学生用
2024年春 semester 時間割

◎2023カリキュラム

- ① 2023年度以降に新入学生（1 semester 回生）として入学した学生
- ② 2024年度以降に2年生編・転入学生として入学した学生
- ③ 2025年度以降に3年生編・転入学生として入学した学生

■ 2024年度春 semester 時間割

• [2023STカリキュラム学生用_24Spring](#) (xlsx, 2024/3/13更新)

授業時間割の見方

期間 開講される期間を記載 **1**

Online (授業形態) 遠隔授業のみ「○」が付く **2**

Zoom ID / 教室 遠隔授業：Zoom IDの記載
対面授業：教室の記載 **3**

講義名 遠隔授業のみ、講義名の先頭に「Online」の記載 **4**

1	2	3	4				
期間/ Term	曜日/ Day of Week	時限/ Period	Online	Zoom MTG ID	教室/ Classroom	講義CD/ Subject CD	講義名
1Q	火/Tue.	1			和心庵	027029EC	茶道EC / Japanese Art of Tea Ceremony EC
2Q	木/Thu.	1	○	333-333-333		028032JA	Online)西洋哲学JA / Online)Western Philosophy JA
Semester	月/Mon.	3			F204	030350EA	観光社会学EA / Sociology of Tourism EA
Session1	セッション /Session	T.B.A.			T.B.A.	027031JF	日本の伝統芸能JF / Traditional Japanese Arts JF

※時間割はサンプルです

授業時間割の見方

言語

開講言語

J：日本語開講 E：英語開講 Es：英語開講としてみなす

5

配当
セメスター

履修できるようになるセメスター

新入生は「1」と記載されている科目のみ履修可能
数字以上のセメスターであれば、履修できます

6

分野

単位が集計される科目分野

7

専門
分野

単位が集計される専門分野

8

講義名	担当教員	言語/ Lang.	配当セメスター / Semester	分野/ Field	専門分野/ Area of Major
ブリッジプログラム EA / Bridge Program EA	AAA AA	Es	1	教養/Liberal Arts	
英語準中級A EA / Pre-Intermediate English A	BBB BB		1	Language	
環境汚染と防止 JA / Pollution Prevention JA	CCC CC	J	1	専門/Major	ST 持続可能な社会分野科目 ST Sustainable Society Subjects
マーケティング入門 EA / Introduction to Marketing EA	DDD DD	E	2	専門/Major	ST 専門教育科目 ST Major Education Subjects
メディアと歴史EA / Media and History EA	EEE EE	E	3	他学部/ Other College	

※時間割はサンプルです